

# 茨城

# CONTENTS

## ① 協会事業

茨城県留学生親善大使任命式を行いました

## ②-③ GLOBAL VIEW

茨城の思い出 ここがよかった、また来たい！

## ④-⑤ 交流の広場

わが町の外国人リーダー  
草の根国際交流は ICT から ICT で国境を越える新しい交流のカタチ  
Young Eyes / Across Culture

## ⑥ 地球だより

上海の日本アニメファン模様

## 県だより

海外で評価される茨城県北ロングトイルへ

## ⑦ For You

お知らせ

## ⑧ Said & Did

## 茨城県留学生親善大使任命式を行いました

茨城県国際交流協会では、国際交流に意欲ある県内留学生を「茨城県留学生親善大使」として任命しています。当協会事業に参加して学校等での母国紹介や茨城県の魅力体験を行います。県民との交流や相互理解を図り、母国と茨城県との良い関係を築くことに期待しています。

6月24日（土）に任命式を行い、今年度新たに52名を任命しました。以前からの活動者とあわせ、17の国と地域から総勢89名が親善大使として活動します。

任命された大使は「県内の学校で文化紹介を行うことで、国際理解を深めることができ、多文化共生社会の形成に繋がりたい」、「活動に積極的に参加し、将来は茨城県の魅力を発信していきたい」など抱負を語ってくれました。

県民のみなさん、学校教育や生涯学習の場で外国の方と楽しく交流して、身近に国際理解を深めませんか。茨城県留学生親善大使は、児童・生徒や地域の方々と直接交流できる日を楽しみにしています。派遣先を随時募集しておりますので、当協会までお気軽にお問合せください。



茨城県留学生親善大使任命式



任命証の授与



交流会

「ワールドキャラバン  
国際理解教育講師等派遣事業」

QRコード





# GLOBAL VIEW

## 特集

### 茨城の思い出 ここがよかった、また来たい！

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行し、世の中に人流が戻ってきました。日本の魅力を体験しに訪れる海外観光客も増えています。

若い年代で人生のひとときを茨城で過ごした元茨城県留学生親善大使、元茨城県 CIR に茨城での思い出を聞きました。

### 「一番お気に入りの観光スポットは筑波山」



氏名	グエン・ティ・リン・チー
国籍	ベトナム
滞在期間	2019年9月～2021年9月
所属	筑波大学留学生
仕事等の内容	大学院修士課程で日本語教育学を専攻
現在	母国の出身大学で日本語を教えている

日本に来る前にネモフィラなどのお花が好きで、国営ひたち海浜公園に何度も行くと決めましたが、やっぱり一番訪問するのが多かったのは筑波山でした。

春、夏、秋、冬、いつでも楽しむことができ、とても自然が感じられるところです。ケーブルカーもロープウェイも何度も体験し、景色が綺麗に撮れました。でも、一番印象に残っているのは筑波山の登山と観光リモートガイド実証実験です。登山はプロ向けのスポーツだと思うベトナム人が多いと思いますが、筑

波山に登ってみたら、難しいは難しいですが、非常に面白い体験で、体だけでなく、心にもとても良い活動でした。私は解決できないことがある時などによく筑波山に登って、つくばうどんを食べていました。

ベトナムに帰ってから、山には遠い都市に住んでいますから、筑波山の登山が本当に懐かしいです。

また、茨城県留学生親善大使でしたので、色々な活動の機会を紹介してもらって、その中で観光リモートガイド実証実験も体験しました。当時コロナ禍はまだ大きな問題であり、対面で案内できない状況でしたから、リモートでガイドが私に筑波山の案内をしてくれました。何度も筑波山に行ったことがある私でしたが、その体験を通して、筑波山の神社や筑波山奇岩などのことがよくわかりました。

筑波山に関することが恐らくまだ全部理解しきれいていませんから、ぜひまた行きたいと思います。

リン・チーさんは語学力を生かし協会事業を色々手伝ってくれましたね。でも、登山が趣味だったとは知りませんでした。ましてや、登山でつくばうどんを堪能していたとは！ 今度は学生さんを連れて登山に戻ってきてほしいです。待ってます。

在籍中の茨城県留学生親善大使プレゼント  
私のおすすめの場所



「国営ひたち海浜公園」

季節によって様々な花を味わうことができます。

ホアン ゴック トゥ ガン  
(茨城キリスト教大学)



ずばり牛久大仏です。

ブイ チー ピエン  
(流通経済大学)



最近行ったなかでは「霞ヶ浦」

遊覧船の風が涼しく落ち着いた雰囲気がお勧め。  
(写真は帆引き船)

霍 雨佳 (筑波大学)



小さな街の駅「TAMARIBAR」

ここで過ごす時間が好き！

トロブチン ニキタ  
(筑波学院大学)



## 「茨城県の思い出」



氏名 グロリア・チェン  
 国籍 カナダ  
 滞在期間 2017年7月～2020年6月  
 所属 茨城県庁で国際交流員（CIR）として勤務  
 仕事等の内容 県国際渉外チームでの通訳業務、県内学校での母国紹介講師等  
 現在 イギリスに滞在中

茨城県での3年間は私にとって非常に特別な時間です。当時日本が国際舞台で注目を集めていた中で、G20 茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合や東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプなどで賑わっていました。私もこれらの大きなイベントに関わる機会に恵まれました。

その勤務中、たくさんの新しいことを学ぶとともに、同僚との間に深い絆を築くことができました。繁忙な日々の中で、お互いを支え合い、共に乗り越えていく中での連帯感は今でも心の中に強く残っています。

仕事だけでなく、プライベートでも互いの人生や未来について語り合い、私の出身地であるカナダと一緒に旅行する機会も持ちました。

私にとって一生の宝物となる思い出と友情を作ることができました。今でも時々、県庁展望ロビーからの眺めや、千波湖の桜、そして共に過ごした人々の顔や声を思い出します。茨城は私にとって日本での故郷と言っても過言ではありません。

カナダのスーパーで茨城県産の納豆やさつまいもを見かけると、とても懐かしくなります。そんな日常の中で、茨城での思い出は私の人生の大切な一部として、これからもずっと私を支え続けてくれることでしょう。

グロリアさんはいつも笑顔であたたかく、地域の国際交流イベントでは子どもから大人まで積極的に県民との交流を深めてくれました。世界をもっと知りたいとヨーロッパでの生活をスタート、茨城で一緒だったイギリス出身 CIR と再会したそうです。応援しています！

在籍中の茨城県留学生親善大使プレゼント  
 私のおすすめの場所



秋限定「光のトンネル」  
 (袋田の滝観瀑トンネル内)  
 神秘的かつ芸術的な光に圧倒されました。  
 トキエウ アンチャム (流通経済大学)

## お知らせ 水害対策をしていますか？

関東地方では、6月から10月にかけて、梅雨や台風等により川の水が増える季節です。外国人の皆さんにも水害（大雨、洪水、台風、がけ崩れ、地すべり）に注意してほしいです。水害の備え、避難するタイミングなどを、言語ごとに図入りで説明しています。

### 茨城県国際交流協会 ホームページに掲載

- にほんご <https://global.ia-ibaraki.or.jp/post-230719014503/>
- 英語 (English) <https://global.ia-ibaraki.or.jp/en/post-230719014503/>
- 中国語 (中文) <https://global.ia-ibaraki.or.jp/zh-cn/post-230719014503/>
- ポルトガル語 (Português) <https://global.ia-ibaraki.or.jp/pt/post-230719014503/>
- タガログ語 (Tagalog) <https://global.ia-ibaraki.or.jp/tl/post-230719014503/>
- タイ語 (ไทย) <https://global.ia-ibaraki.or.jp/th/post-230719014503/>
- スペイン語 (Español) <https://global.ia-ibaraki.or.jp/es/post-230719014503/>
- 韓国語 (한국어) <https://global.ia-ibaraki.or.jp/ko/post-230719014503/>
- インドネシア語 (Indonesia) <https://global.ia-ibaraki.or.jp/id/post-230719014503/>
- ベトナム語 (Tiếng Việt) <https://global.ia-ibaraki.or.jp/vi/post-230719014503/>



↑にほんご



↑英語  
(English)



↑中国語  
(中文)



↑ポルトガル語  
(Português)



↑タガログ語  
(Tagalog)



↑タイ語  
(ไทย)



↑スペイン語  
(Español)



↑韓国語  
(한국어)



↑インドネシア語  
(Indonesia)



↑ベトナム語  
(Tiếng Việt)

## わが町の外国人リーダー



**佐藤 ローザ**  
**ブラジル出身**  
**常総市通訳**  
**(市民課会計年度任用職員)**

### ローザさんを紹介いたします

ローザさんは、2017年から常総市役所で通訳として働いています。機構改革により「市民協働課」、「市民と共に考える課」を経て、現在は「市民課」に所属しています。常総市は、約10人に1人が外国人の街（居住率茨城県内第1位）で、その中でもブラジル人の人口が第1位となっています。そのような環境のため、ローザさんを頼りに市役所に来庁する外国人市民も多くいます。ローザさんは、通常の通訳業務以外のところでも、他課の業務の勉強をされたり、積極的に多文化共生につながる研修やイベントに参加されるなど、とても勉強熱心です。また、市とさまざまな関係機関とのパイプ役として、当市の多文化共生の推進にはなくてはならない人です。

ローザさん、いつもさまざまな面で助けていただきありがとうございます。これからも常総市の多文化共生の推進を一緒に頑張っていきたいと思います。

常総市市民と共に考える課

### ローザさんにお聞きしました

#### ○常総市の活動等でよかったこと、感じていることなどを教えてください。

来日してずっと会社勤めでした。突然、常総市役所で通訳の仕事をしてみたいかと誘いがあり、興味もあってチャレンジしながら、現在まで続けております。学び、挑戦、工夫の日々です。外国人は言葉の壁で日本の制度を理解するのが難しい。そのため、職場、役所、病院、学校、様々な場で困っている方々に少しでも理解して頂けるように、どのように説明すれば分かりやすくなるかを常に考えて職員と相談しております。

今の子育て世代は問題を抱えていることが多いので、今後その子供たちも同じにならないようにするためには、日本語の理解、読み、書き、話せることが重要です。そのことが子供たちの将来にも関わってくるので、きちんとした教育を受けることの大切さを親にわかって頂けるよう心がけております。

外国籍の方が制度、教育などを理解して日本で安心して生活出来るようにサポートをしていきます。



#### ○地域で生活している外国人／日本人の方々へのメッセージ

生まれ育った国、言語、宗教、教育、文化それぞれ違いますが皆同じ人間です。寄り添って楽しく生活出来るように願っております。

## 草の根国際交流はICTから ICTで国境を越える新しい交流のカタチ

大子町観光商工課長 田那辺 孝

このたびは、このような貴重な機会をいただきまして、誠にありがとうございます。

今回は、茨城と台湾の山間部にある学校同士のICTを活用した国際交流についてご紹介させていただきます。

大子町の東部に位置する大子町立生瀬小学校は、全校児童32名（令和5年5月1日現在）の小規模校です。一方、台湾台東県介達國小学校は台湾東部の自然豊かな地域にあり、立地、規模ともによく似た状況の小学校です。

大子町立生瀬小学校と台湾台東県介達國小学校との交流は、作家、俳優、歯科医、そしてサイクリストでもある一青妙（ひととたえ）さんが、大子町のサイクリング事業推進のアドバイスをするために町を訪れたことがきっかけでご縁をいただき、スタートすることになりました。一青さんは、台湾にルーツを持ち、日本のみならず台湾でも様々なアンバサダーを務めていらっしゃいます。

交流に向けての打合せもメールやチャットを介して進められました。交流は短時間でも良いので定期的に行ったほうが望ましいという相互理解のもと、毎週1回、水曜日の午後2時30分（台湾時間午後1時30分）からの約20分間、時差を考慮した上でのスタートとなりました。

毎回、両校がテーマについて打合せをして、交流は進められています。互いの学校紹介や季節の行事の感想を紹介したり、合唱や舞踊を発表したりしています。



交流の上で課題になるのは言葉の問題ですが、当初、筑波大学の留学生が通訳として参加してくれました。また、現在は一青さんや台東県職員である小曾戸さんが通訳をしてくれることもあり、二校間の交流が沢山の関係者の協力の下で実現していることに心から感謝しています。昨年11月には小曾戸さんが来日した際に、今年3月には一青さんが、それぞれ生瀬小学校を訪問し、台湾の文化について特別講義を行っていただきました。

定期的な交流の中で相互理解が深まるにつれ、子どもたちに「台湾に行ってみよう」、「直接会ってみよう」という気持ちが芽生えてきている様子が見えかけます。

ちいさな学校同士で始まった、ちいさな草の根国際交流はこれから子どもたちの心に国際感覚の根を張って、これからのグローバル社会を生き抜く力となり大きな花を咲かせてくれることを願ってやみません。





# YOUNG EYES

第60回茨城県高等学校国際教育英語スピーチコンテスト  
(主催：茨城県高等学校国際教育研究協議会)における最優秀「茨城県知事賞」  
の受賞者に寄稿していただきました。

茨城県立盲学校 高等部1年  
フロレス・アンジリン・ユ

## 私たちが気づく未来の輝き



私は、茨城県知事賞を受賞し、笑顔と喜びでいっぱいになったのと同時に、周りの方全てに助けられたから受賞できたことに気づきました。一つのものか形になるまでの道のりは長いですが、この賞は、多くの方からの協力と努力の結晶です。この賞は、私だけの賞ではなく、今まで自分を受け入れてくれた家族、先生方、友達の賞でもあります。何があっても支えてくれる周囲の方には感謝がありません。

私はこれまで国籍や文化が変わる中で、さまざまな人と共にたくさんの経験を積んできました。周りの人全てに助けられ、認められ、愛されたことによって、今の自分がおり、差別することなく、仲間を受け入れていくことがこの世界の平和につながるための鍵であることに気づきました。

この世界を変えられるのは私たちだけであり、一人ひとりの人間が心一つにすることで、協力し合える社会を築き、今まで以上に明るい未来になると思います。たくさんの人々に「仲間を受け入れること」を大切にしてほしいです。当たり前

のことに見えますが、人間は完璧でないのにそのことに気づかないため、いじめや差別が生まれます。だからこそ、みんな平等で、そして、一人ひとりが違う個性の持ち主であることを意識することで、明るい未来に一步步近づいていくことができると信じています。

みんなに助けてもらってきたように、私も将来、たくさんの人々を助けていきたいです。いつかライターになるという目標に向かって、愛と感謝を込めて書く1文字1文字が、遠くにいる仲間たちにもたくさんの灯りとなって送り届けられるように、今のうちに全力で悩んで、全力で笑って、そして全力で頑張ります。



# ACROSS CULTURE

## 国際農林水産業研究センター 水産領域特別研究員 スルタナ ザケア (SULTANA ZAKEA)



### 「バングラデシュ」ってどんな国？

南アジアに位置し、インド、ミャンマーと国境を接し、日本からは約8千Km 離れています。国の中央部をガンジス川が流れ、国土の大部分はデルタ地帯で、サイクロンや洪水などの自然災害の被害を受けやすい国です。バングラデシュの南にベンガル湾に世界最大級のマングロブ群生地帯「シュンドルボン」があり、そこにはベンガルトラが生息しています。日本の4割ほどの国土に約1億7000万人が暮らし、さらに、ミャンマーのロヒンギャ人達も避難して高人口密度国になっています。

公用語はベンガル語です。ほとんどの方が知らないのですが、ユネスコの制定により、ベンガル語のため国際母国語デーという記念日があり、毎年2月21日に世界中でお祝うことになっています。首都はダッカ、通貨はタカです。



### 日本へ来たきっかけ

母国のバングラデシュでは、食糧不足を解消するため、魚介類の養殖業が極めて重要視されており、私の出身地の多くの人々はエビやカニの養殖に従事しています。私は母国の水産業の発展に寄与したいと願い、バングラデシュ農業大学大学院水産養殖学専攻修士課程卒業後、水産畜産省の水産養殖普及員として働く機会を得ました。その折りに、付加価値の高い甲殻類を養殖することが、バングラデシュの貧困養殖業者にとって生活水準の向上に繋がるということが分かりました。そのことをきっかけに、試験研究・科学技術を踏まえた形で貢献できるようにと、世界に先駆ける卓越した技術と知識を誇っている日本に留学を決意しました。京都大学理学研究科博士号を取得後、現在国際農研水産領域においてバナメイエビの生理生化学的研究および種苗生産技術開発研究に従事しています。

### 日本とバングラデシュのここが違って面白い！

バングラデシュの国旗は日本の国旗と良く似ていると言われていますが、

本当は違います(参考、写真)。日本の国旗と似ているのは、独立戦争後1972年1月17日に国旗として公式採用された旗に描かれていたバングラデシュの地図が取り除かれているためです。



バングラデシュの学年度は、1月に始まり(入学)12月に終わります(卒業)。生徒達は新しい本を政府から配布され、新年を迎えます。ちなみに、バングラデシュのお正月は4月14日です(西暦と別のベンガルカレンダーに基づく)。校歌は全国的に同じです。なぜなら国歌が校歌になっているからです。学校の運動会では、日本の学校のような紅白のチームで競うのではなく、個人で競います。1位から3位を受賞した生徒達は賞品を貰うことができ、自宅に持ち帰れます。

バングラデシュは国土のほとんどが熱帯モンスーン気候に属し、地域による一年の気温差はあまりありません。暦の上では、6つ季節があります。しかし、大きく分けると暑季(4月、5月)、雨季(6月~10月)、乾季(11月~3月)の3つに分かれます。

食事は、日本人が毎日、みそ汁をたべるように、バングラデシュ人は三食カレーを食べていますが、バングラデシュのカレーは、日本のカレーとは作り方も味も全然違います。紅茶は甘くして飲みます。

### 私の将来の目標

将来は安定的な水産業の発展のための研究の成果を、発展途上国である母国や、エビ生産養殖業が盛んな東南アジアの国々でも生かしてもらいたいと考えています。さらに、バングラデシュと世界の様々な国との架け橋となって、日本から国際的に貢献できることを願っています。



# 地球だより News from the earth



## 「上海の日本アニメファン模様」

茨城県上海事務所長 鈴木 賢嗣

茨城県上海事務所は中国への進出企業に対するサポートや笠間焼などの県産品販売促進、茨城との空路・海路の充実、観光誘客等に取り組んでいます。そして現在特に力を入れているのが対日投資、中国資本の茨城への誘致です。つくばの研究開発拠点や日立ものづくり技術などに中国企業は魅力を感じているようです。また、今年8月4日に2020年2月以来、約3年半ぶりとなる「茨城―上海」定期便が運航再開となりました。この再開により、茨城空港を利用した観光やビジネスの往来が増えることを期待しています。

さて私はアニメが好きですので、アニメの話題にします。日本のアニメは世界で人気ですが、ここ上海も例外ではありません。街中にはジャンプショップやジブリのお店があり、お客さんで賑わっています。中国ではスラムダンクの映画が4月に公開されました。私も公開初日に行きましたが満席でした。こちらの方は、映画を見ながら素直に笑ったり、歓声を上げたりするんですね。本当にアニメを楽しんでいる気がしました。

また先日も上海の領事館でアニメや映画の聖地巡礼に関する講演会があり、茨城県もPRで参加させていただきました。200名定員のところ400名応募がすぐにあつたとのこと。こちらの方は、テレビ番組ではなくインターネットの動画配信サイトで日本のアニメを楽しむことが主流になっているようですが、法規制もあり、全部の作品を観ることができるわけではないようです。



中国の企業を日本の展示会で茨城県企業のブースに案内

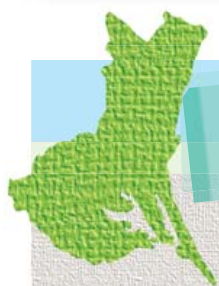


上海の少年ジャンプショップ



上海での日本のアニメの映画公開時のイベント風景

イベントに来場された方の数人と話をしましたが、アニメ好きを自負する私もたじたじになる程の情報量でした。なんと日本のアニメや歌が好きで日本語を勉強した人や日本に留学した人もいます。また、その中には「大洗」に行ったことがある人もいました。茨城県はロケ地王国ですのでロケツーリズムを売り込むのも面白いのではと思っています。



## 県だより

### 海外で評価される茨城県北ロングトレイルへ

県北振興局 主事 久保田一輝

茨城県北ロングトレイルは、茨城県の県北地域に点在する、山・海・川・滝などの自然の景勝地、ぬくもりある里山、食や温泉、歴史的遺構などの魅力ある地域資源をひとつなぎにした周回型のトレイルで、現在、約105kmが開通しています。

日本の原風景が手つかずのまま残されたような山と里を交互に訪れて、地域の方の生活や文化を体験し、繰り返し感動に出会うことができるのが魅力です。

今年5月には、世界的に有名なロングトレイル「ヨルダントレイル」の取組を成功に導いた立役者であり、ロングトレイルの有識者であるリーナ・アンナブ駐日ヨルダン大使をお招きし、大井川知事と県北ロングトレイルを歩いていただき、大使からは、日本でのこれまでの経験の中で、一番美しい自然を感じるハイキングだったと、高い評価をいただきました。

また、同月には、茨城県のCIR（国際交流員）やALT（外国語指導助手）の有志の方々に県北ロングトレイルを歩くイベントを行っていただき、「すごく良いトレイルだった」「知り合いにも紹介したい」などのご意見をいただいたところです。

今年度は、茨城デスティネーションキャンペーンとあわせて、10月1日から翌年1月15日までの期間、登山アプリ「ヤママップ」を使った、デジタルバッジキャンペーンを開催します。キャンペーンは、コース上の絶景ポイントや県北地域の観光地などを周遊し、アプリ内でバッジを集めるもので、この機会にぜひ、県北ロングトレイルに足を運んでいただければと思います。

県では、海外から多くの方に県北ロングトレイルへお越しいただきたいと考えており、SNSを活用したPRなど取り組んでいるところです。今後も、関係機関とも連携をしながら、海外で評価されるトレイルを目指して参ります。





# for you...

## 外国人のための休日無料相談会

10月と11月に外国人のための休日無料相談会を実施いたします。日本語以外での相談の場合、下記の10言語の通訳が可能ですので、母国語で相談したい外国人の方はぜひこの機会をご利用ください。

### 1. 【外国人のための無料相談会in常総】(主催:東京出入国在留管理局)

- 日 時:令和5年10月22日(日) 11:00~15:00
- 場 所:常総市役所 (常総市水海道諏訪町3222-3)
- 相談内容:在留資格、年金手続、生活相談、法律相談、市税の相談、就職相談  
※相談無料、秘密厳守、30分/回  
※東京入管、年金事務所、ハローワーク、市役所などの職員と直接通訳付きで相談できます。
- 対応言語:日本語、英語、中国語、韓国語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、フィリピン語、インドネシア語、ネパール語 など ※その他の言語は翻訳機等で対応

### 2. 【外国人のための一日無料弁護士相談IN筑西】

- 日 時:令和5年11月26日(日) 10:00~15:00(受付14:30まで)
- 場 所:しもだて地域交流センター「アルテリオ」(筑西市丙372番地)
- 相談内容:在留資格、労働問題、結婚、税金、保険、その他生活全般  
※相談無料、秘密厳守、通訳付き
- 対応言語:日本語、英語、中国語、タイ語、タガログ語、ポルトガル語、韓国語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、シンハラ語  
※その他の言語は翻訳機等で対応

☎問合せ先:(公財)茨城県国際交流協会 外国人相談センター  
TEL:029-244-3811

## 第33回外国人による 日本語スピーチコンテスト発表者を募集します!

令和6年2月17日(土)13:00~16:30、ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホールにて開催予定の「第33回外国人による日本語スピーチコンテスト」の外国人発表者を募集します。県内で生活している外国人の皆さんが、日頃考えていることや、日本・茨城の印象、母国の話など国際理解を深めるテーマについて発表できる絶好のチャンスです。出場者全員に豪華賞品を用意しております。たくさんの方々のご応募をお待ちしております。(締切12月11日(月)必着)応募方法は協会ホームページをご覧ください。



## ~2023年度ICA海外協力隊秋募集のお知らせ~

JICA海外協力隊の秋募集を11月1日(水)~12月11日(月)の日程で行います。

募集期間中、茨城県内ではJICA海外協力隊経験者の体験談が聞ける説明会や関連イベントを開催します。海外や国際協力、ボランティア活動に興味のある方ならどなたでもご参加いただけます。この機会に是非お越し下さい。

問合せ先  
(公財)茨城県国際交流協会内  
JICA茨城デスク

Eメール  
jicadpd-desk-ibarakiken@jica.go.jp



## バナー広告募集中!

当協会ホームページのトップページにバナー広告を掲載することができます。

国際交流や多文化共生等に興味がある方に、あなたの会社や事業をPRしてみませんか。

なお、バナー広告料収入は、協会の様々な事業に有意義に使わせていただきます。

詳しい情報は  
コチラ↓



## ホストファミリーを募集しています!

ホームステイを希望する外国からのゲストを温かく受け入れてくださるホストファミリーを通年で募集しています。ご家庭で国際交流をしてみませんか。詳しくは当協会ホームページをご覧ください。

詳しい情報はコチラ↓



## 賛助会員を募集しています!

当協会では、茨城県に在住する外国人の皆様が安心して生活できるよう、多言語による相談事業や情報提供などを実施し、外国人の皆様にも住みよい地域づくりに努めています。また、より多くの県民の皆様が外国の方々と交流し相互理解を深める機会を提供するために、留学生や在住外国人の方々、交流団体の皆様と連携し、様々な交流事業も展開しています。

皆様からのご支援のもとに、さらに充実した活動を続けて参りたいと存じますので、賛助会員へご加入いただき、お力添えください。

会員になると、機関紙「ふれあい茨城」の送付、各種イベント等情報の提供、協会施設の優先利用、提携旅行社の割引などの特典があります。

また、賛助会員は、公益法人への寄付として申告により所得税や法人税の優遇措置の適用を受けることができます。

皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

賛助会費	団体会員	1口 10,000円(1口以上)
	個人会員	1口 3,000円(1口以上)



※賛助会特典、税金の優遇措置の詳細については、当協会HPをご覧ください。

## ●令和5年度 団体賛助会員 (令和5年7月末現在) ※敬称略

- |                            |                           |                   |
|----------------------------|---------------------------|-------------------|
| 石岡商工会議所                    | 鹿島埠頭 株式会社                 | 日本語学校つばはスマイル      |
| 「茨城アジア教育基金」を支える会           | 鹿島臨海通運株式会社                | 日本労働組合総連合会 茨城県連合会 |
| いばらき印刷 株式会社                | 鹿島臨海鉄道株式会社                | ヌーベルアーシュ株式会社      |
| 一般社団法人 茨城県医師会              | 株式会社 光和印刷                 | ヌーベルキャリア株式会社      |
| 公益財団法人 茨城県開発公社             | 古河市国際交流協会                 | ヌーベルメディア株式会社      |
| 茨城県火災共済協同組合                | 国際ソロプチミストつくば              | ハンザラン             |
| 茨城県行政書士会                   | コトブキ印刷 株式会社               | 常陸大宮市国際交流協会       |
| 一般社団法人 茨城県経営者協会            | J A 茨城県中央会                | 日立商工会議所           |
| 一般財団法人 茨城県建設技術公社           | 下館商工会議所                   | 広沢商事 株式会社         |
| 茨城県市長会                     | 株式会社 常陽銀行                 | ふじの会              |
| 社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会          | 常陽トータルサービス 株式会社           | フレンドリーあんず         |
| 茨城県商工会議所連合会                | 昭和建設 株式会社                 | フレンドリージャパンワールド    |
| 茨城県商工会連合会                  | 鈴縫工業 株式会社                 | 水戸市内国際交流ふれあいの会    |
| 茨城県信用組合                    | 関影商事 株式会社                 | 水戸商工会議所           |
| 茨城県信用保証協会                  | 株式会社 高野高速印刷               | メサフレンドシップ         |
| 茨城県青年海外協力隊を育てる会            | 社会福祉法人 達生堂 城西病院           | 株式会社 めぶきリース       |
| 茨城県世界青年コミュニケーション倶楽部 (WYCC) | 筑西市国際友好協会                 | 株式会社 ルックアット       |
| 茨城県中小企業団体中央会               | 中国武術茨城推進協会                | ワタヒキ印刷 株式会社       |
| 茨城県町村会                     | チョッラン                     |                   |
| 茨城県日中友好協会                  | 株式会社 筑波銀行                 |                   |
| 株式会社 茨城ポートオーソリティ           | 株式会社 つくば研究支援センター          | 他1社 計67団体         |
| 株式会社 茨城読売 S                | 電機連合茨城地方協議会               |                   |
| 鹿嶋国際交流 J C サークル            | 那珂市国際交流協会                 |                   |
| 鹿嶋都市開発 株式会社                | 日本原子力発電 株式会社 東海事業本部 地域共生部 |                   |

皆様のご支援とご協力に  
心より感謝申し上げます。





# Said and Did



## 第1回クエスト茨城留学生研修を実施しました

夏のクエスト茨城留学生研修を、7月8日(土)に実施しました。本ツアーは、留学生が茨城県への理解を深め、愛着を持って留学生活を送ることを目的としており、留学生28名が参加しました。

今回は東海村と大洗町を訪問し、さつまいも生産・干しいも加工を営む会社と大洗水族館を見学しました。

東海村の会社では、生産者から無化学肥料・無農薬のさつまいも栽培について説明を伺い、干しいも加工所で最新の機械や設備を見学しました。視察を通じて熱心にお話を伺って理解を深めていたり、干しいもを試食して美味しさに感動していたりと、茨城の名産品の良さを体感できました。

アクアワールドでは、約580種に及ぶ多種多様な生き物を見たり、ダイナミックなイルカショーを見たりして楽しみました。また広大な海の景色も楽しみながら、充実した時間を過ごしました。

バスツアーを通して、今まで知らなかった茨城の魅力を発見したり、他の学校の留学生と交流したりと、実りある一日を過ごすことができました。ご協力頂きました、株式会社照沼並びにアクアワールド茨城県大洗水族館に心から御礼申し上げます。



## 春期世界文化セミナーを実施しました

イラン、アイルランドやアメリカなど、毎回様々な国籍の講師から母国の話を英語で聴き、英語で質疑応答や意見交換を行うことにより異文化理解を深めました。今回は久しぶりに人数制限なしで対面クラスを金曜日の午後に開催し、同時にオンラインクラスを水曜日の夕方に継続して行い、たくさんの方にご参加いただきました。

特に参加者が興味を引いたのは、「カナダの先住民族の歴史」と「フランスの仕事文化」についてで、カナダ編ではカナダを植民地化したヨーロッパ人による先住民族の迫害及び現在も続いている差別やその対策、そしてフランス編では、今春行われたフランスの年金改革に抗議するストライキや暴動の背景、日本とフランスの働き方の違いなどが話題として取り上げられました。



フランスの年金改革に抗議するストライキや暴動の背景、日本とフランスの働き方の違いなどが話題として取り上げられました。

## フランス語・文化講座を開催しました

今夏、高校生と大学生を対象に初心者向けのフランス語・文化講座を開催しました。

フランス人の茨城県国際交流員が、全6回の講師を務め、オンラインで開催することにより、県内遠地の学生にも参加いただきました。

講座では、自己紹介や注文の仕方、道の尋ね方など、実践的なフランス語を学ぶとともに、フランスの音楽や教育制度についても紹介しました。語学学習を通じて多文化共生社会づくりに参加するきっかけを提供することができました。



## ネットワーク会議を開催しました

7月13日(木)、県内の市町村、市町村国際交流協会、民間国際交流・協力団体を対象に、令和5年度国際交流・協力ネットワーク会議が対面形式で開催され、総勢115名の方にご参加いただきました。

午前の基調講演では、認定NPO法人Reach Alternatives (REALS)理事長の瀬谷ルミ子氏が「我々は進化する争いにどう対峙するか? ~戦争と平和の最前線からの報告~」と題し、「武装解除」の専門家として、アフリカを中心に紛争地域に出向き、平和構築に向けた幅広い活動を現地の写真を紹介しながらお話いただきました。

午後は3つの分科会に分かれ、各テーマについて事例発表と講義が行われました。第1分科会では、ドイツ出身で守谷市国際交流員のシュテファニー・レーツ氏、フランス出身で茨城県国際交流員のセイフェン・ジャワ氏がそれぞれの国の多文化共生社会について発表し、参加者と意見交換や質疑応答を行いました。

第2分科会では、日系社会青年海外協力隊として南米・ブラジルに派遣経験のある石森和磨氏による事例発表のあと、参加者と地域課題解決のアイデア出しワークショップを行いました。

第3分科会では、地域日本語教育推進員2名がファシリテーターとなり、北九州国際交流協会が開発したシミュレーションゲーム「ANADO(あなたならどうする)」を使って地域日本語教育の困難や葛藤についてグループワークが行われ、その後、意見共有が行われました。

この会議が参加した皆さんの今後の活動やネットワークづくりの良い機会となれば幸いです。



## 「トルコ・シリア地震被災者支援のため義援金募集」の結果について

(公財)茨城県国際交流協会は、NGO茨城の会とともに、トルコ・シリア地震による被災者に対して援助活動を行う団体等を支援するため義援金を募集した皆さんの義援金をお預かりすることができました。

援助活動を実施している団体等のうち、被災地での活動内容や今後の資金需要などについて検討し、右記の団体に寄付させていただきました。

募金にご協力をいただきました多くの県民の皆様方に厚く御礼申し上げます。

○義援金額 2,080,784円

○寄付先

日本赤十字社茨城県支部 1,040,392円

(特活)難民を助ける会 1,040,392円

編集・発行



(公財)茨城県国際交流協会

〒310-0851 茨城県水戸市千波町後川745 ザ・ヒロサワ・シティ会館分館2F  
TEL:029-241-1611 FAX:029-241-7611

ホームページ <http://www.ia-ibaraki.or.jp>  
メールアドレス [iaa@ia-ibaraki.or.jp](mailto:iaa@ia-ibaraki.or.jp)